



## 新南町桜つつみの特徴

### 1. 関川水辺プラザとの一体整備

桜つつみは、地域交流の拠点となるような賑わいのある水辺空間を目指して、国土交通省と上越市が共同で進めている「関川水辺プラザ」（平成10年～平成20年予定）の計画区域内にあります。

水辺プラザ計画では、桜つつみ予定地は「やすらぎと憩いゾーン」と位置づけられており、親水型の広場を整備することにより、周辺の福祉・医療施設や新南公園（予定）と連続したやすらぎの空間づくりを目指しています。

また、桜つつみは、桜で有名な高田公園一帯に隣接しているため、将来的には観桜会の一役を担うものと期待されます。

### 2. 学生などの憩いの場

桜つつみは、堤防と背後地にある県立看護短大（H14年度より4年制大学）の間にあった市道を埋めて作ります。したがって、学校から水辺までのアクセスが容易になることから、学生達の憩いのスペースとしてピッタリです。

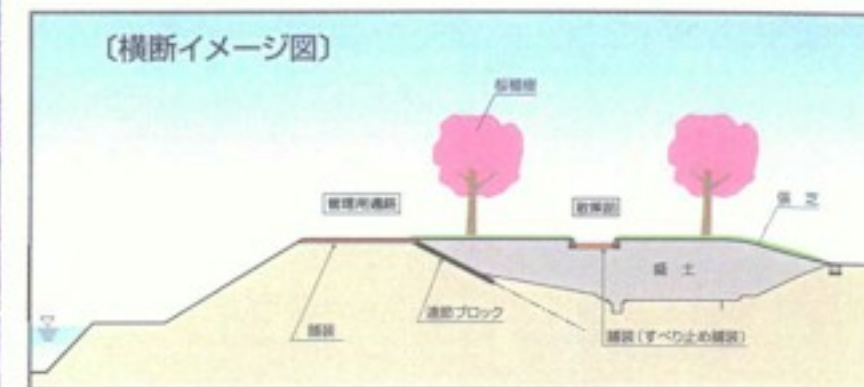
### 3. こどもや高齢者にも配慮した優しい施設

桜つつみ周辺は、住宅地であるとともに病院・老人福祉施設などが集まっています。

より多くの皆さんに利用していただくために、こどもや車椅子の方及び高齢者の方も気軽に使える緩いスロープを作ります。それにより、桜つつみから高水敷の芝生広場まで、連続的に施設が利用できます。



上越市新南町地先周辺



〔横断イメージ図〕



## 実施例



新道地先の桜つつみ



休憩所



〔桜つつみ計画平面図〕

延長 L=450m



階段護岸



労災病院前の緩スロープ



芝生広場とベンチ